



## 2年普通科 総探 テーマ発表会

### 語ることで見える新たな世界 ～「ジブンゴト」への第一歩～

6月11日（水）5、6限目、2年普通科「総合的な探究の時間」のテーマ発表会が行われました。生徒はこれから1年間、班ごとに設定したテーマに向かって探究活動に取り組みます。今回は4つの分野別分科会に分かれ、様々な班のメンバーで構成されたグループの中で、テーマ設定の動機や取り組みの内容、現状と課題などについて発表し合いました。一人一人が自分の言葉で他者に伝えることによって、**探究活動の当事者としての意識を高める**機会となりました。また、それぞれの分科会において、**生徒同士の交流の中で新たな視点や今後の見通しを得られた**ようです。



### 地域と文化

「地域と文化」では、「学校給食で地産地消を」「グリーンコーナーを御坊に招致したい」「地元の祭りを後世にも残すには」「道成寺について」「和歌山のスポーツ」など、幅広い探究テーマがありました。開始直後は緊張していましたが、発表を重ねるにつれて楽しみながら取り組む姿や、何とか質問をしようと頑張る姿が見受けられました。どの生徒もお互いの発表を興味深そうに聞き、これからの自分たちの探究に活かすために情報収集に励んでいました。今後の活動への見通しを考える有意義な時間でした。

### テーマ発表会を通して学んだこと（地域と文化）～振り返りシートより～

私の班はパワーポイントを使って発表をしたので、コメントシートに「分かりやすかった」と書いてくれている人が多かった。本番の発表も、他の班と違う、おもしろくて印象に残るような発表をしたかった。

自分たちの頭の中では構成や伝えたいことがまとまっているけれど、それをみんなに分かってもらえるよう言葉にするのが難しかった。図や写真を使うと、少しは理解しやすくなると思った。

周りの反応から考えると、自分たちの内容がうまく伝わっていなかったように思う。テーマをもう一度見つめて分析し、改善点を見つけ出すことが重要だ。



内容をしっかりまとめることによって、発表がしやすくなり、これから先の展望や目標について現実的に考えやすくなると分かった。

**地域と産業**

「地域と産業」では、「公共交通の本数を増やしたい」「オーバーツーリズム問題」「電の被害を受けた梅の活用法」「農家の担い手不足」「マグロの養殖マスターになろう」など、様々なテーマが発表されました。初めは緊張の面持ちでしたが、自分の言葉で内容を細かに伝えたり、伝わりやすい話し方を工夫したりして、メンバーが次第に発表の場になれる様子が印象的でした。質問をするのに少し苦労していましたが、聞き手として頷いたり感想を述べたりする様子が見られ、とてもよかったです。

**テーマ発表会を通して学んだこと（地域と産業）～振り返りシートより～**

観光農業について探究しているが、観光するための宿泊地の費用や人件費などの資金の出所を具体的に考えていなかった。今後ビジネスにつなげられるように意識しようと思った。

他の班のテーマに対する考えが、私の考えとは全く違ったり、想像を超える解決策があったり、学ぶことがたくさんあった。もらった意見や考え方を参考にして、今後の探究活動に活かしていきたい。

コメントシートを書いてもらったり、質問してもらったりすることで、いろんな考え方があると分かった。

他の班の話をしっかり聞き、質問やアドバイスなどを積極的にできた。また、質問をされた場合はしっかりと答えることができた。それらをもとに調べ作業をして、改善案などを探究していきたい。

**地域と防災**

「地域と防災」では「防災アプリ」「非常食」「防災グッズ」「避難訓練」など、実生活と密接に結びついたテーマが多く発表されました。最初は緊張気味で、質疑応答が沈黙の時間になってしまうこともありましたが、後半になるにつれ、徐々に発言数が増えていき、生徒達の成長が見られました。参加者の聞く姿勢がとても良く、発表者も自信をもって、自分たちで生み出したテーマについて説明することができていました。他の生徒からの意見やアドバイスをもとに、今後の探究活動をブラッシュアップしてくれることに期待したいです。

**テーマ発表会を通して学んだこと（地域と防災）～振り返りシートより～**

問題点は1つに絞ることが重要だとコメントシートを見て気付くことができた。グループでしっかりと話し合い、より具体的な内容にしていきたいと思った。今回の交流がとてもよいものになったと感じた。

コメントシートから、自分たちが考えられていない箇所に気づかされた。これからの授業では、活発にコミュニケーションをとり、探究課題とその先に求めるものを考え、深めていくことが必要だと感じた発表会になった。

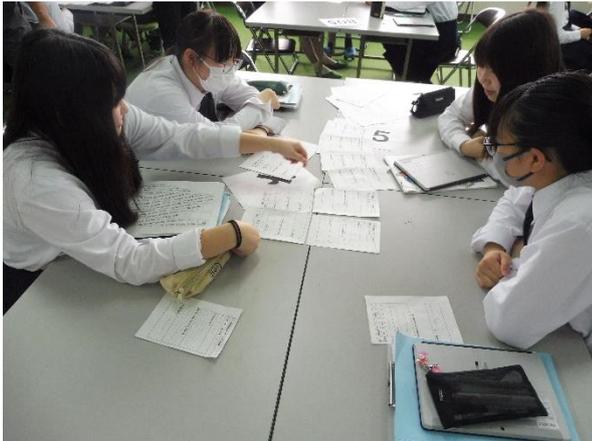
声の大きさや話すスピード、抑揚などに気をつけないと、はっきり伝わらなかった。自分の口から言って相手に伝えるのもこれだけ難しかったので、ポスターで伝えるのはもっと難しいと思った。



もっとみんなに分かりやすい説明が出来たらよかったです。班の中で、現時点での悩みを調べてはっきりさせることが必要だと思った。

**国際社会と地域**

「国際社会と地域」では、「国際問題における恐竜の新たな活用法」「お米について」「ヴィーガンにしてみた」「外国人から見た日本の標識」「パンダを連れ戻すには」「やさしい日本語で住みやすい御坊市に」など、グローバルな視点から様々なテーマがありました。生徒は真剣な表情でメモを取りながら、時折聞き慣れない専門的な言葉に身を乗り出したり、発表後に拍手で健闘をたたえ合ったりしていました。探究活動に主体的に取り組むことへの大きな刺激をもらったようです。最後の話し合いでは、テーマの方向性をもう一度話し合い始める班もあり、発表会を通して活動の目指すところがより具体的に見えてきたようでした。

**テーマ発表会を通して学んだこと（国際社会と地域）～振り返りシートより～**

他のグループは、調べたデータなどからリサーチクエスチョンを考えていたから、自分たちももう少し調べて現状を知った上で、リサーチクエスチョンを考え直してみても良いのかなと思った。

他の班は、今後「〇〇に行ってみる」や「〇〇を食べてみる」など具体的に展望を述べていて、すごく良いと思った。他の班と比べることで、改善するところがたくさん見つかったので、今後活かしていきたい。

私たちの班では、調べることをメインに活動していたので、リサーチクエスチョンをあまり出すことができていなかったかもしれないと思った。テーマをもっと明確に決めなければならないと気づいた。

みんなが惹きつけられるようなことを文章にすることが必要だと思った。また、発表内容がどのように国際的なことやSDGsと関連付けられているのかをしっかりと考えて、相手に伝えることが大事だと思った。

**半径5mから未来へつながる ～夏休み前 Ring 特別授業～**

6月24日（火）と7月9日（水）に、株式会社リクルートの田村乃唯さんによる、夏休み前 Ring 特別授業がオンラインで行われました。

夏休み中に個人で取り組む、リクルート主催のアントレプレナーシップ・プログラム「高校生 Ring」についてお話いただきました。1時間という限られた時間の中でしたが、プログラムの説明にとどまらず、なぜ今探究活動が求められているのか、人の気持ちを動かす伝える力とはどのようなものか、などに役に立つポイントが盛り沢山の内容でした。「身近なところにある疑問や心の引っかかりが、周りの人を、社会を、世界を変えるかもしれない。」高校生の皆さんの瑞々しい感性から、どのようなアイデアやビジネスプランが生まれるのか楽しみです。

